

# さかいまち 議会だより

No. 160

平成24年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会  
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1

TEL. 0280-81-1316

FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス

<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



猿島地区防災訓練で行われた心肺蘇生法の講習会

## 平成23年度各種会計決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額
境町一般会計	87億3,011万4,035円	84億2,595万4,996円
坂東市外2か町公平委員会特別会計	86万8,413円	37万4,012円
境町国民健康保険事業特別会計	32億3,261万8,793円	30億6,650万3,906円
境町後期高齢者医療事業特別会計	3億6,650万2,825円	3億6,477万81円
境町介護保険事業特別会計	13億4,629万1,909円	13億2,281万1,885円
境町公共下水道事業特別会計	7億7,600万2,203円	7億6,535万6,484円
境町農業集落排水事業特別会計	2億4,289万9,287円	2億2,300万4,936円
合計	146億9,529万7,465円	141億6,877万6,300円
水道事業会計	収益的収入	収益的支出
	5億3,152万8,226円	5億4,655万386円
	資本的収入	資本的支出
	92万1,000円	1,983万42円

(水道事業会計の資本的収入額が、資本的支出額に不足する額18,909,042円は、過年度損益勘定留保資金18,769,942円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額139,100円で補てんした。)



齊藤政一委員長

## 決算特別委員会報告

平成24年第3回定例会が9月7日から18日までの12日間で開催されました。

開会初日に本会議に提出された平成23年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員12名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月12日に開催され、慎重に審査をした結果、いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月18日の本会議において委員長の報告のとおり、全会一致をもって認定されました。

## 監査報告

平成23年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計については、監査委員の決算監査が行われ次のとおり報告がありました。



(鈴木真吾 監査委員)

### ○一般会計及び特別会計

一 決算計数について  
決算額と帳簿の計数は符合しており適正と認める。

二 財産管理について  
財産に関する調書の計数は、管理簿及び証憑書類に符合しており、また、調書以外の物品も台帳管理を行っており適正である。

三 事務執行について  
収支の執行は、収支命令に符合しており、また、契約事務も適正に行われ、法令、条例、規則に準拠の執行であり適正である。

### ○水道事業会計

帳簿は正確に記録されており、諸表の計数も非違はなく、当該年度の

事業執行について、すべての財源とその用途及び年度末における財政状態を適正に表示しており、合法かつ正確と認める。

境町監査委員 鈴木 真吾  
関 稔

## 提出議案の内容と審議結果

### 条例の改正

○境町特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する条例  
の一部を改正する条例

〔原案可決〕  
労働安全衛生法第13条の規定により、産業医の選任に伴い、その報酬を定めるため条例の一部を改正するもの。

○茨城県後期高齢者医療広域連合規  
約の一部変更

〔原案可決〕  
住民基本台帳法の一部改正に伴い茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更することについて、地方自治法291条の11の規定により境町議会の議決を求めるもの。

### 補正予算

○平成24年度境町一般会計補正予算  
(第4号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千830万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億110万5千円とするもの。

○平成24年度境町国民健康保険事業  
特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4千953万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1千234万2千円とするもの。

○平成24年度境町後期高齢者医療事  
業特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千204万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9千388万3千円とするもの。

○平成24年度境町介護保険事業特別  
会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千818万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ14億1千407万7千円とするもの。

○平成24年度境町公共下水道事業  
特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ60万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億6千158万8千円とするもの。

○平成24年度境町農業集落排水事業  
特別会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕  
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ50万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億4千407万円とするもの。

## 人事案件

○境町教育委員会の委員の任命につ  
き同意を求めることについて

〔即日原案同意〕  
境町大字浦向542番地  
石塚 義光

○境町教育委員会の委員の任命につ  
き同意を求めることについて

〔即日原案同意〕  
境町571番地3  
石綿 由紀子

○教育予算の拡充を求める請願

〔採択〕  
請願者  
水戸市笠原町978番地46  
茨城県教職員組合  
代表 高野 富二男  
ほか156名

○東海第二原発廃炉を求める決議に  
関する請願書

〔継続審議〕  
請願者  
境町大字伏木847番地  
子供の未来を考える会  
代表 小久保 弓

## 意見書の提出

次の意見書を可決し、政府関係機  
関へ提出しました。

○教育予算の拡充を求める意見書  
子供たちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことであり、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるためきめ細かな教育の実現と少人数学級を推進すること。

また、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため義務教育費国庫負担制度を堅持すること。及び、東日本大震災における教育復興の予算措置の継続を強く要望する。

提出先 内閣総理大臣ほか5名

## 一般質問

議席1番 濱野 健司 議員



### ○いじめについて

Q.境町の小中学校において、いじめはあるか?  
A.ある。

Q.これまでいじめに対しての調査または対策として、どのような取り組みがあったか?  
A.7月19日に県からの依頼に基づきいじめ問題に関する緊急調査を行い小学校5件、中学校で22件あったが中学校の1件はまだ解決していない。また、年3回のアンケートや本人、保護者と面接を行ってきた。

〔教育長〕  
Q.移りゆく学校教育の中で、いじめ対策として今後どう取り組んでいくのか?また新しい取り組みなど何か考えはあるのか?  
A.小学校3年生から中学校3年生までを対象に、いじめ発見心理テスト「QUTテスト」の実施及び児童生徒教職員、保護者、住民を対象に講演会を実施する。また、校長、教頭を中心とした、いじめ対策委員会を設置する。

〔教育長〕  
Q.対話が何より大事で、被害者の声を早期にきける環境づくりに最も尽力を尽くすべきだと思うが、町長はどう思うか?  
A.当町では大きないじめ問題は発生していないが、今後も問題が起きな

いような体制作りを教育委員会に依頼し、町も全面的に支援していく。

〔町長〕

○防犯対策について

Q.火の手があらがないような所で火事が発生しているが、空家の管理についてどう考えているか？これから増えて行くであろう空家に対し、管理条例をつくってみては？

A.先進事例等を十分研究し、検討していきたい。

〔総務部長〕

Q.パトロールの強化など防犯についてのこれからの取り組みは？女性消防団などもっとPRなどに使ってみては？

A.先の行政懇談会で各行政区における防犯パトロールの実施をお願いした。

〔総務部長〕

A.女性消防団は火災予備運動などPR活動を実施していく。

〔生活安全課長〕

議員7番 田山 文雄 議員



○がん対策について

Q.ピロリ菌ABCリスク検査を導入すること、公的助成を行うことによつて受診率も高まると思うが、当町の考えを伺いたい。

(※)ピロリ菌ABCリスク検査とは、血液検査でピロリ菌抗体と胃の萎縮度を測るペプシノゲンを測定し、そ

の組み合わせから胃がん発症のリスクを明らかにするもの。)

〔町長〕

A.専門家の意見を参考にし、できることなら費用面も一部助成することを考え、前向きに検討していきたい。

〔町長〕

○子供の脳脊髄液減少症について

Q.この病気については、あまり知られていないために悩む子供が多いとされている。この病気は、交通事故やスポーツ傷害などで、身体に強い衝撃を受けた時に、脳脊髄液が漏れ出し減少することで慢性的に苦しむ病気と言われている。町民や教育現場における学校関係者に対して、周知活動が必要であると思うが、当町の考えを伺いたい。

A.子供でも、日常生活の中で起こりうる病気であることの正しい知識、予防法等を町のホームページ、あるいは小冊子などの活用により、広く町民、学校関係者などに対し周知する方法を今後、検討していきたい。

〔民生部長〕

○通学路の安全対策について

Q.今日、求められている対応は、国民の知恵を結集し、国民の意識改革をも見据えた「総合的通学路の安全対策」である。そこで、当町の現状と今後の取り組みについて伺いたい。

〔教育次長〕

A.通学路の危険箇所については、過日、建設課ほか4機関による通学路の合同点検を実施した。町で対応出来ることは早急に検討し、国・県に対する要望も併せて検討したいと考える。

議員2番 飯田 進 議員



○いじめ問題について

Q.境町の各小中学校ではどのような対策がされているか。

A.各学校では、各学期に年間3回、児童・生徒に対してアンケートの実施と挨拶運動の実施、また、本人や保護者と面談するなど、いじめの早期発見・早期防止に取り組み、常に担任の先生方が、児童・生徒の表情をつぶさに観察するように心がけさせている。

〔教育長〕

Q.境町教育委員会はどのような対策を考えているか。

A.新たな取り組みとして、町内の小中学校の小学3年生から中学3年生を対象として、楽しい学校生活を送るためのアンケート「いじめ発見心理テスト」別名Q.Uテストと併せて児童生徒・教職員・保護者・地域の皆様を対象に、講演会等の実施を考えている。

〔教育長〕

○小中学校の環境整備について

Q.猛暑対策として町内各小中学校へエアコンを設置すべきではないか。

〔副町長〕

A.境一中南側校舎は「校舎耐震補強工事」の中で設置予定。境小、猿島小、森戸小は平成25年度公立学校施設整備費交付金事業の大規模改造工事として、平成26年度に残りの4校を国へ申請する予定であるが、今後は町の財政状況を十分勘案し検討していきたい。

Q.省エネ対策の一環として、今後予定されている各小中学校の体育館改修工事に合せてLED照明器具の導入を検討すべきでは。

A.境二中体育館についてはLED照明を導入した設計で改築予定、長田・猿島・森戸・静の各小中学校の体育館耐震補強工事においても、導入コスト等を視野に入れながら、充分検討していきたい。

〔副町長〕

そのほか、安全対策として町内全児童へのヘルメットの着用について質問をした。

議員4番 倉持 功 議員



Q.文部科学省から通達を受け、通学路の危険箇所の把握を行ったと思うが、今後どう対応していくのか。

A.子供の通学路の安全を最優先としてとらえ、町で出来ることは早急に検討を行い、国や県に対する要望も合わせて対策を講じていきたいと考えている。

〔教育次長〕

Q.危険箇所の把握について子供たちの視点、保護者の視点、学校の視点とすべて漏れないよう安全確保につなげていただきたい。

A.各学校の状態をよく把握して漏れないように努めていきたい。

〔教育次長〕

Q.学校施設の耐震改修工事が続くが児童生徒の安全確保、勉強や生活の環境づくりの配慮はされているか。

A.毎週1回の工程会議の中で児童生徒及び学校関係者の安全を最優先に考え、事故のないように充分注意して工事を進めるよう指導及び工事区域内全般の監視等安全確保に努める。

〔副町長〕

Q.来年度、長田小、猿島小、森戸小、静小の4校の体育館耐震工事が同時に行われる予定だが、スポーツ少年団等への対応はどうなっているか。

A.災害のことを考え、なるべく早くに耐震工事を行わなければならないため使える体育館を有効利用していきたい。

〔町長〕

議員5番 須藤 信吉 議員



○教育問題について

Q.いじめ問題の取り組みについていじめの現状として、文科省の認知件数(小・中・高・特別支援学校4校にて)、平成21年度7万2千778件、平成22年度7万7千630件と増加している。当町は、(27件小学校5件・中学校22件)あると報告されたがこの取り組みについて。

〔教育長〕

A.「いじめ」は、いつでもおこりうるという認識から、報告・連絡・相談・確認を大切にし、どんな小さなことでも見逃さない指導力を教員全員で身に付け「いじめ」撲滅に向け対応していく。

〔教育長〕

Q. 中高一貫教育について  
古河市では平成25年4月に県立中等教育学校として開校されるが、当町としての考えは。

A. 現在、県内でも学校数は少ない状況であり、今後、先進地の視察及び有識者・保護者等との協議が重要と考える。

○国民健康保険の今後の取り組みについて

Q. 国保税の滞納者は、どの位あるのか、又その対策は。

A. 平成21年度（値上げした年）709世帯であったが、平成23年度は690世帯と減少した。対策として、納税相談、月末の午後7時迄の納付窓口延長等、より一層の収納率向上に努めている。

○行政懇談会について

Q. 町の今後の取り組みで防災計画について、特に備品関係の不足についての助成はあるか。

A. 補充については、茨城県の補助金等も含め検討したい。

議席9番 内海 和子 議員



○喫煙や薬物依存について

Q. 青少年の喫煙や薬物乱用は健全な心身の発達を阻害する。小中学校ではどのような取り組みをしているのか。

A. 学級活動や保健学習の時間を利用してタバコの害や薬物乱用防止について学習している。今後は女性の講師も視野に入れる。

Q. 女性の喫煙が増えている。家庭教育の中で、タバコの害などの取り組みは出来ないか。

A. 町内小中学校の1年生の保護者を対象としている家庭教育学級の中で取り組むよう検討する。

○庁舎での職員の健康管理の点で対策はしているのか。

A. 健康増進法に基づき、庁舎内は全面禁煙とし、労働安全衛生委員会を組織し、安全衛生改善に努めている。

Q. 企業では禁煙の治療をしていると聞く。取り入れてもいいのではないか。

A. タバコは個人の自由なので強制はできない。

○サロン事業について

Q. 社協で計画中のサロン事業は私の前回質問の空き店舗利用の町づくりの構想と同じと考える。総合計画の中にどのように取り入れるのか。

A. 地域コミュニティの充実という観点で、第5次境町総合計画の前期計画の中に位置づける。

○火災について

Q. 最近火災が多い。その原因や対策は何か。

A. 今年発生の19件のうち、原因不明の火災が16件で、各行政区のパトロールの実施や警察と連携を密にしなから、取り組んでいく。

議席11番 木村 信一 議員



○農業の振興について

Q. 境町の農業の現状について

A. 作業従事者の高齢化の進展や価格の不安定等により、後継者不足が顕在化しており、農家戸数・就業者とも減少傾向にあり、平成22年の農林統計調査では、農家数は1千404戸、就業者数は1千568人である。

Q. 人、農地プラン作成に伴う意向調査の結果について。

A. 青年就農者がいると回答された方は55名で、青年就農給付金の対象者に該当すると思われる方は11名。認定農業者の方は182名。

Q. 担い手農家や新規就農者に対して町独自の対策は考えられないか。

A. 団体には組織活性化を支援するためソフト面での町独自の補助金の交付をしている。また、ハード面では町独自の補助金支援については大変厳しいところから、国や県の補助金制度を活用する中で、生産出荷体制の整備支援をしている。

Q. 原発事故から1年が経ち境町の農産物の風評被害の状況について。

A. 東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策境町協議会を窓口とする農産物の賠償は完了している。今年度8月末までの放射性物質測定結果は、全ての農産物で「検出せず」となっている。

○今後のまちづくりについて

Q. 「行政懇談会」での町民の声に対する今後の対応について。

A. 現在精査をしているところで、まともり次第、区長さんを通じて報告する。

○防災について

Q. 地震だけではなく、落雷や竜巻に関する研修や訓練を地域や各学校などで実施すべきでは。

A. 落雷や竜巻に関する研修及び訓練は今のところ実施していないが、今後は研修、訓練等も教員を中心に実施していきたい。

平成24年第3回臨時会

平成24年10月17日開会

○平成24年度境町一般会計補正予算(第5号)

猿島小学校グラウンド改修工事に関する補正をするもので、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千544万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億2千654万7千円とするもの。

○工事請負契約の締結

契約の目的  
平成24年度境町立境第二中学校  
屋内運動場改築工事  
契約の方法  
一般競争入札

第4回定例会のお知らせ

平成24年第4回境町議会定例会が12月10日(月) から14日(金)までの会期で開催される予定です。

12月10日(月)	本会議(開会、提出議案上程・説明)
12月11日(火)	本会議(一般質問)
12月12日(水)	本会議(一般質問)
12月13日(木)	常任委員会
12月14日(金)	本会議(採決、閉会)

契約金額  
3億1千426万5千円  
契約の相手方  
篠原・福島特定建設工事共同企業体  
代表構成員  
境町大字長井戸1683番地  
株式会社 篠原工務店  
代表取締役 篠原純一  
構成員  
境町大字塚崎676番地  
株式会社 福島工務店  
代表取締役 福島市郎

◎広報編集委員会

委員長	濱野 健司
副委員長	飯田 進
委員	内海 和子
委員	田山 文雄
委員	渡邊 昇